令和８年（2026 年）11 月４日

保護者の皆様

札幌市立新川中学校
校長　　南山　雅礼

令和８年度　全国学力・学習状況調査結果の概要について

晩秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育に関しまして、深い御理解と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。さて、４月に行われた全国学力学習状況調査につきまして、本校の結果に伴う概要がまとまりましたので、御報告いたします。本校ホームページに掲載しておりますので、あわせて御覧ください。

新川中学校ホームページ

https://www16.sapporo-c.ed.jp/_view/shinkawa-j

【本年度の調査の概要】

◆目　的　○義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
○学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
○そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆調査対象　中学校第３学年

◆調査日時　令和８年４月 22 日（水）～24（金）

◆調査事項

１　教科に関する調査（国語・数学・英語）

出題範囲は、調査する学年の全学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

２　質問調査

①児童生徒に対する調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

②学校に対する調査

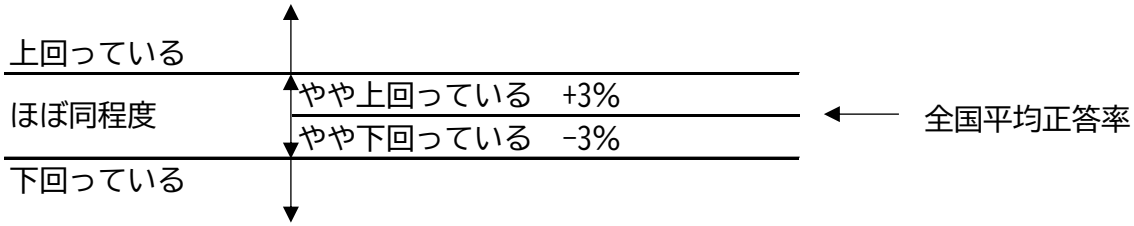
指導方法に関する取組や人的、物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

R8　国語科　全国学力・学習状況調査結果分析

　各教科の概要と課題、改善の方向についてお知らせいたします。なお、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解願います。

分類	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
	区分及び領域	全国平均との差が大きかった項目についての課題	課題解決のための指導方法
知識及び技能	**「言葉の特徴や使い方に関する事項」** ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	文法的な知識を、文脈に応じて活用・判断する力に課題が見られる。特に、単語の類別、助動詞の働き、言葉の意味・用法の違いについて、文中の言葉の働きを捉える力を高める必要がある。	具体的な文章や日常的な言葉を題材に、言葉の形や働き、意味の違いに着目させ、根拠を説明する活動を通して、文脈に応じて言葉の働きを判断する力を育成する。
思考力、判断力、表現力	**「話すこと・聞くこと」** △全国平均より上回っている。	話の内容を捉えたり、発言の意図を理解したりする力は全国を上回っている。一方、話合いを踏まえて自分の考えを整理し、相手の立場を踏まえて意見をまとめる力に課題が見られる。	話合いの中で、「相手の意見を捉える→自分の考えを整理する→根拠を明確にして伝える」という過程を重視する。特に、話合い後に自分の考えを文章化したり、相手の意見を踏まえて発言を修正したりする活動を取り入れる。
	「書くこと」 △全国平均より上回っている。	表現を工夫して書く力は全国を上回っている。一方、交流を通して文章のよい点や改善点を捉え、それを今後の文章作成に生かす力に課題が見られる。	文章を書いて終わりにせず、「書く→読み合う→よさや改善点を捉える→書き直す」という過程を重視する。特に、友達の文章から表現の工夫や効果を具体的に見つけ、自分の文章の改善につなげる活動を取り入れる。
	「読むこと」 △全国平均より上回っている。	文章の展開や必要な情報を捉える力は概ね身に付いている。一方、文章中の表現の具体的な様子や効果を捉え、それを基に自分の考えを深める力に課題が見られる。	文章中の具体的な表現に着目し、「どのような様子を表しているか」「なぜこの表現を使っているか」を根拠をもって説明する活動を充実させる。さらに、表現の効果を自分の考えと結び付けて説明する指導を行う。

◎全国平均との比較について



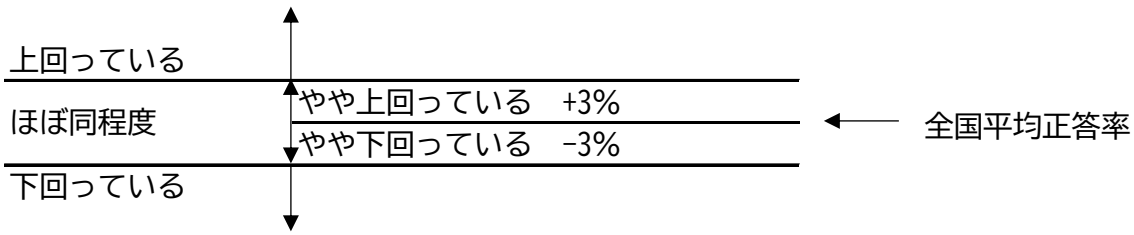
※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲

R8　数学科　全国学力・学習状況調査結果分析

　各教科の概要と課題、改善の方向についてお知らせいたします。なお、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解願います。

分類	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
	区分及び領域	全国平均との差が大きかった項目についての課題	課題解決のための指導方法
学習指導要領の領域	**「数と式」** ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	「数と式」の基本的な計算や同類項の理解は概ね身に付いている。一方、文字式を用いて事柄の成り立ちを説明したり、数学的な表現を用いて考えを一般化したりする力に課題が見られる。	具体的な数値から文字式へと段階的に考え、式の意味や「なぜそうなるのか」を説明する活動を充実させ、数学的に考える力を育成する。
	「図形」 △全国平均より上回っている。	角の大きさを式で表す力は身に付いている一方、図形の性質を根拠として筋道立てて証明したり、証明に必要な仮定を捉えたりする力に課題が見られる。	「何が分かっているか（仮定）→何を示すか→どの性質を使うか」を整理する活動を重視し、証明の根拠を説明したり、途中の記述を補完したりする活動を通して、論理的に筋道を立てて説明する力を育てる。
	「関数」 △全国平均より上回っている。	表やグラフから必要な情報を読み取る力は概ね身に付いている一方、関数の関係を事象と結び付けて捉え、数学的な表現を用いて問題解決の方法を説明する力に課題が見られる。	表・式・グラフを相互に関連付け、「何がどのように変化しているか」を捉える活動を重視する。さらに、求め方を式だけで終わらせず、「なぜその方法で求められるのか」を事象に即して説明する活動を取り入れる。
	「データの活用」 △全国平均より上回っている。	累積度数や箱ひげ図など、データの基本的な読み取りは概ね身に付いている。一方、複数のデータを比較して傾向を捉え、その根拠をデータの特徴に基づいて説明する力に課題が見られる。	表やグラフから読み取った事実を基に、その傾向や根拠を説明する活動を重視する。複数の資料を比較・関連付け、データを根拠として判断・説明する活動を継続的に取り入れる。

◎全国平均との比較について



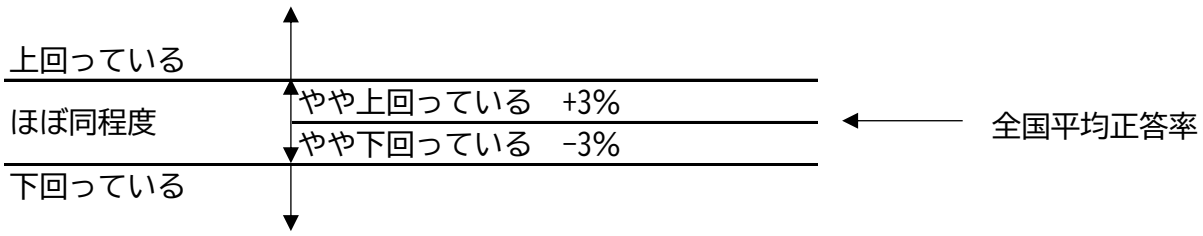
※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲

R8　英語　　全国学力・学習状況調査結果分析

　各教科の概要と課題、改善の方向についてお知らせいたします。なお、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解願います。

分類	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
	区分及び領域	全国平均との差が大きかった項目についての課題	課題解決のための指導方法
学習指導要領の領域	**「聞くこと」** △全国平均より上回っている。	全体として基礎的な聞き取り力はあるが、日常生活の音声から目的の情報を聞き取る問題で平均を下回る。アナウンス等から特定の情報を正確に選択･判断する精緻な聞き取り能力の向上に課題が見られる。	音声を聞く際に「何を聞き取るか」の目的を意識させる。また、「〇階」「～の隣」などの位置や数字を表す決まり文句を事前確認し、必要な情報だけをピンポイントで聞き取る練習等を継続する。
	「読むこと」 △全国平均より上回っている。	実用的な読解では比較的高い力が見られる一方、物語の心情変化や説明文の要旨など、文章全体の内容を捉える力に課題が見られる。	文章全体の流れや構造を捉える活動を取り入れ、段落の要約や接続詞に着目する指導を通して、筆者の主張や登場人物の心情の変化を捉える力を育成する。
	「話すこと」やりとり △全国平均より上回っている。	相手の質問を聞き、その内容に応じて自分の予定や考えを英語で伝える力に課題が見られる。また、依頼など、場面に応じて適切な表現を選んで伝える力の向上も必要である。	「聞く→考える→話す活動を充実させ、ペア・グループでの実践的なやり取りや即興的な活動を取り入れ、コミュニケーション能力を育成する。
	「話すこと」発表 △全国平均より上回っている。	身近な話題では比較的話すことができている一方、自分の考えや理由を整理して、まとまりのある内容として話す力や、社会的な話題について考えを述べる力に課題が見られる。	「自分の考え→理由→具体例」のように内容を整理して話す活動を取り入れ、身近な話題から社会的な話題へと段階的に発表活動を広げる。また、短時間でも発表する機会を継続的に設け、表現する力を育成する。
	「書くこと」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	与えられた情報の英訳や文法の理解は概ね身に付いている。理由や根拠を添えて自分の考えを述べる英作文では、語彙力はあるが、まとまりのある文章で自らの考えを構成する力に課題が見られる。	「主張＋理由」という書き方の型を身につけさせる。「私は～と思う。なぜなら…」のように理由を表す言葉を必ず使わせ、自分の意見筋道を立て、一気に書ききる練習を日常的に繰り返す。

◎全国平均との比較について



※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲

R８年度　全国学力・学習状況調査結果【生徒質問紙調査より】

肯定的な回答が８０%以上のもの

※パーセントの数値は肯定的な回答の割合を示しています。

質問事項	R8 新川中	全国 平均
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	98.9	92.4
あなたの家では主に何語で話していますか	98.9	99
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	98.9	95.9
今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	96.9	93.7
解答時間は十分でしたか（数学）	96.8	87.8
英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	96.6	87.6
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	95.5	92.4
友達関係に満足していますか	94.4	91.2
総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか	94.3	81.7
1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか	94.3	82.8
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	93.3	90.9
人が困っているときは、進んで助けていますか	93.3	90.8
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	93.3	91
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	93.3	95.1
朝食を毎日食べていますか	93.2	90.9
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	93.2	91.3
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	92.1	87
あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか	91	90.9
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか	91	80
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	91	84.5
1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていましたか	91	85.1
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	89.9	85.2
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	89.9	88.2
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87.7	76.5
キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書くことができますか	87.7	76.7
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	87.6	80.8
学級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	86.6	77.8
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	86.5	80.5
自分には、よいところがあると思いますか	86.5	84
学校に行くのは楽しいと思いますか	86.5	85.4
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか	86.5	84.8
1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	86.5	78.8
1、2年生のときに受けた授業では、国語の授業で、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめていましたか	86.5	84.8
数学の授業の内容はよく分かりますか	86.5	74.2
1、2年生のときに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか	85.4	73
国語の授業の内容はよく分かりますか	84.3	76.8
1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	84.3	78.9
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	84.2	79
1、2年生のときに受けた授業では、数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか	83.1	77.8
学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか	82	72.2
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	80.9	72.3
1、2年生のときに受けた授業では、国語の授業で、文章を書いた後に、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしていましたか	80.9	76.1
1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか　※週1回以上の割合	80.8	92.9

肯定的な回答が５０%以下のもの

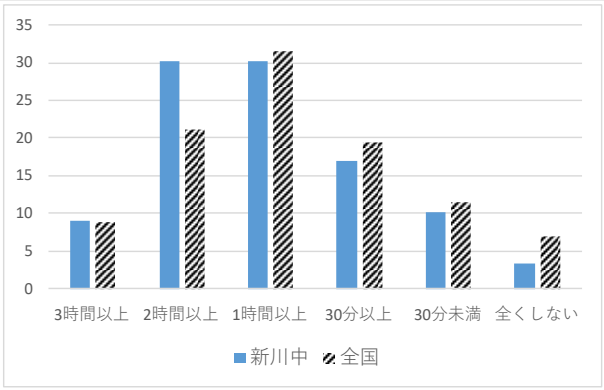
質問事項	R8 新川中	全国 平均
学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか	40.5	36.4
将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか	38.2	34.1
これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	37.1	36.6
昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか　※週に1～3回程度の割合	10.1	7.8
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）※1時間以上の割合	9	7.9
家庭学習の課題（宿題）として、どの程度、PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか　※週3回以上の割合	9	10.2
新聞をどれくらい読んでいますか　※週に1～3回程度の割合	3.4	6.2
放課後や学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、地域の図書館（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか　※週に1～3回程度の割合	0	1.7

学習習慣・学習環境に係る視点

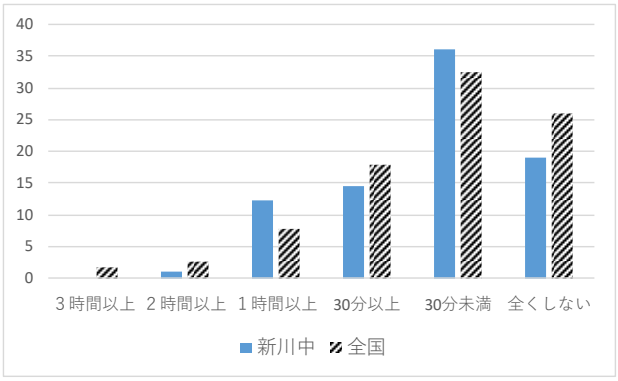
質問事項	R8 新川中	全国 平均
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）※1時間以上の割合	69.6	61.6
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）※2時間以上の割合	30.3	29.9
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）※1時間以上の割合	13.5	12
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）※4時間以上の割合	49.4	49.6

学習習慣・学習環境に係るアンケート結果

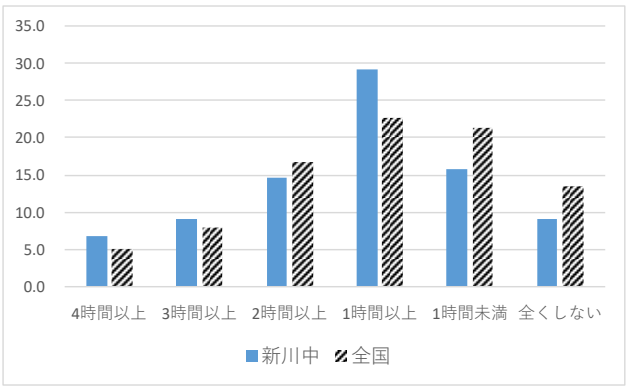
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



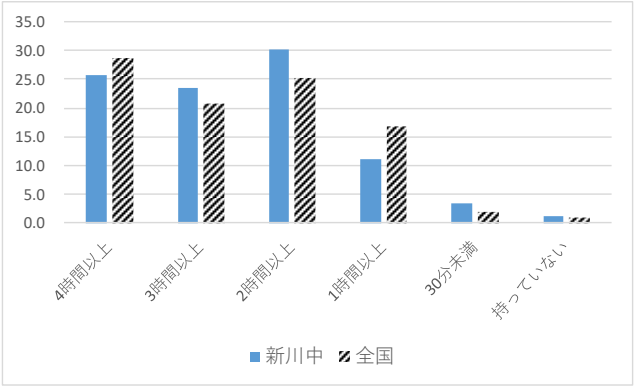
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか



土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等でSNSや動画視聴などをしますか



令和８年度　生徒質問紙調査結果より

【生活習慣に係る視点】

本校では、朝食や就寝・起床時刻などの基本的な生活習慣が全国平均を上回っており、家庭でのコミュニケーションも良好です。

一方、平日のスマートフォンなどの長時間使用は全国平均とほぼ同程度であり、適切な利用に向けた取組が必要です。また、将来の夢や目標をもつ生徒の割合が全国平均を下回っていることから、日々の学習や学校生活を通して、自分の将来について考える機会を充実させていきます。

今後も、良好な生活習慣や家庭とのつながりを生かしながら、デジタル機器の適切な利用と、将来への希望や目標をもてるような支援に取り組んでいきます。

【学校生活・人間関係に係る視点】

本校では、「学校に行くのは楽しい」「友達関係に満足している」と感じる生徒や、周囲と協力して課題解決に取り組む生徒の割合が全国平均を上回っており、学校生活や友人関係は概ね良好です。また、困りごとや不安があるときに、先生などに相談できると感じている生徒も多く見られます。

一方、自分と異なる意見を伝えても否定されないと感じる生徒の割合は、さらに高めていく必要があります。

今後も、良好な友人関係や教師とのつながりを大切にしながら、互いの違いや考えを認め合い、誰もが安心して意見を伝えられる学校・学級づくりを進めていきます。

【人間尊重の教育に係る視点】

本校では、人の役に立ちたい、困っている人を助けたいと考える生徒の割合が全国平均を上回っており、他者を思いやる心が育っています。また、自分のよさを認めたり、先生から認められていると感じたりする生徒も多く、自己肯定感の高まりがうかがえます。

一方、「いじめはどんな理由があってもいけない」と考える生徒の割合は全国平均をやや下回っており、相手の気持ちや立場を考え、いじめを許さない意識をさらに育てていく必要があります。

今後も、思いやりの心や一人ひとりのよさを大切にしながら、互いの違いや立場を尊重し、誰もが安心して過ごせる学校づくりを進めていきます。

【課題探究的な学習に係る視点】

本校では、課題解決に主体的に取り組むことや、学んだことを生かして考えをまとめること、話合いを通して考えを深めることなどで、全国平均を上回っています。また、総合的な学習の時間でも、課題設定や情報収集・整理・発表などに積極的に取り組んでいます。

一方、自分に合った学び方を工夫することや、ICTを活用して情報を整理することには課題が見られます。

今後も、探究的な学習活動を充実させながら、自分に合った学び方を工夫し、ICTを効果的に活用して考えを深める力を育てていきます。

【さっぽろっ子自治的な活動に係る視点】

本校では、学級活動で互いの意見を生かして解決方法を決めたり、自分が努力すべきことを考えたりするなど、学級や学校生活をよりよくしようとする主体的な姿が見られます。また、話合いを通して考えを深め、周囲と協力して課題を解決しようとする意識も全国平均を上回っています。

一方、自分と異なる意見を言っても否定されないと感じる生徒の割合は74.1%であり、誰もが安心して意見を伝え、互いの考えを認め合える雰囲気づくりが必要です。

今後も、話合い活動を充実させ、生徒が主体的に学級や学校生活の改善に関わるとともに、互いの意見を尊重し合える学校づくりを進めていきます。

【ICTの活用に係る視点】

本校では、ICTを活用したプレゼンテーションや情報収集、総合的な学習の時間における情報の収集・整理・発表などで、全国平均を上回っており、ICTを活用した学習が進んでいます。

一方、授業でのICT機器の活用頻度や、図・表・思考ツールなどを用いた情報整理には課題が見られます。

今後も、ICTを効果的に活用し、情報を整理・分析して自分の考えを深め、主体的に学ぶ力を育てていきます。

【学習意欲・学習習慣に係る視点】

本校では、平日に家庭で1時間以上学習する生徒の割合が全国平均を上回っており、家庭学習の習慣が身に付いています。また、授業内容の理解や、学んだことを将来や実生活に生かそうとする意識も良好です。

一方、自分に合った学び方を考えて工夫することや、読書習慣には課題が見られます。

今後も、家庭学習の習慣や学習への前向きな姿勢を大切にしながら、自ら学び方を工夫して学習を深める力を育てるとともに、読書に親しむ機会の充実を図っていきます。